



小松市中学校長会  
会長 宮本 肇

## 時代に応じた beautiful harmony(美しい調和)を

小松市立学校PTA連合会の皆さまには、日頃から市内の子どもたちの健やかな成長のために様々な方面から学校を支えて頂いていることに心から感謝申し上げます。

平成が終わり、令和元年度もはや終わろうとしています。昨年五月に日本政府が元号を「令和」と発表した後、外国のテレビ局や新聞は、「令」は英語で「order」や「command」だと伝えて話題になりました。それを受けて外務省は、「beautiful harmony(美しい調和)」をつかうように、各国の日本大使館に伝えたとのことです。

さて、PTA (Parent-Teacher Association) を辞書で調べると「父母と教師の会」とあり、“全ての児童生徒のためのボランティアな活動”と続いていました。時代とともに子どもたちだけでなく保護者を取り巻く環境は大きく変わってきましたが、まさに“ボランティア精神”を結集して乗り切ってこられたことに、改めて敬意と感謝を表します。

近々の大きな課題である“働き方改革”につきましても、学校・単P・市P連で共有すべき課題の一つであると受け止めています。折しも、今年度の新年互礼会では『これからのPTAのあり方』と題して、墨田区立両国小学校PTA会長の岡田卓巳氏から貴重な講演をいただきました。実態に応じた様々な取り組みが紹介され、参考にできる部分も多々ありました。まさに令和の時代にふさわしく、学校と単P、そして市P連が一体となって新たな「beautiful harmony(美しい調和)」を生み出していくことの重要性を強く感じました。これからもともに頑張りましょう。



小松市小学校長会  
会長 山本 秀徳

## 一年を振り返って

本年度、小学校長会長を勤めさせていただきました。そのため、小松市立学校PTA連合会の理事として小松市立学校PTA連合会にも携わらせていただき、様々な経験をすることができました。その中で一番感じたことは、「子どもたちや学校は非常に多くの方々から支えられている」ということです。

私のデスクの前に日めくりカレンダーがあり、その中に「得意な人に頼みなさい。自分の得意な分野でお返しすればいい。」という言葉があります。個人だけでなく、組織や組織間の連携とはそういうものではないのでしょうか。学校でできること、保護者・家庭や地域ができること、関係諸団体ができること、それぞれ違いはあるかもしれないが子どもたちが成長していく手助けをすることには変わりありません。

そのためには、自分自身が「何ができるのか」をしっかりと見極める必要があります。得意とまではいなくても、自分にできることを実践しながら、多くの方に支えられるだけでなく自分が支えとなれる場面を見つけていきたいと考えています。そして、「与えた恩を忘れ、受けた恩は忘れずに」日々精進できるような生活を心がけたいと思っています。

